

令和8年度

带状疱疹予防接種のご案内

令和7年度から带状疱疹が予防接種法のB類疾病に位置づけられ、令和7年4月1日から定期接種が開始となりました。本市では、法律で定められた带状疱疹予防接種を、一部負担金をいただき公費で実施します。接種期間を過ぎると補助を受けることができませんので、接種をご希望の方はお早目にご検討ください。

【接種期間】 令和8年4月1日～令和9年3月31日

1 令和8年度対象者 ※補助の対象となる期間は通知のあった年度のみとなります。

①令和8年度に以下の生年月日の方

年齢	対象 生年月日
65歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日生
70歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日生
75歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生
80歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生
85歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生
90歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生
95歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生
100歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日生

※対象年齢の方でも、過去に带状疱疹の予防接種を受けたことがある場合は基本的には補助の対象となりません。

②令和8年4月1日以降において60歳～64歳の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方。

2 带状疱疹予防接種のワクチン

・带状疱疹のワクチンは2種類あります。生ワクチン、不活化ワクチンのどちらかを選んでください。

	生ワクチン（ビケン）	不活化ワクチン（シングリックス）
接種回数・接種間隔	1回	2回（2ヶ月以上の間隔をあける） ※接種期間内に2回接種します。そのためには、1回目を遅くとも1月までに接種する必要があります。ご希望の方は早めの接種をご検討ください。
自己負担額	1回 4,000円	1回 10,700円 (2回接種で21,400円)
予診票	1回目を使います。	1回目・2回目両方使います。
接種時の注意	病気や治療によって免疫が低下している方は接種できません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。

※自己負担額は生活保護世帯の方は無料

3 実施医療機関

- ・別紙の医療機関一覧をご覧ください。事前に必ずご予約ください。
- ・県内の上伊那以外の一部の医療機関でも接種できます。実施可能か医療機関へお問い合わせください。

4 注意事項

- ・带状疱疹にかかったことがある方も接種は可能です。
- ・インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、新型コロナワクチン等との接種間隔の決まりはありません。（生ワクチンについては、他の生ワクチンとは27日以上間隔をあけます）
- ・予診票は「1回目」と「2回目」の2枚送付しています。

裏面をご覧ください

<問い合わせ先> 伊那市役所 健康推進課 予防係 電話 78-4111 (内) 2332

带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘に係った時に体の中に潜伏した「水痘带状疱疹ウイルス」が再活性化することにより、神経に沿って痛みを伴う水泡（水ぶくれ）が現れる病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後も残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。带状疱疹は、一度かかっても再発する可能性があります。

带状疱疹ワクチンの効果

	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

※合併症の一つである「带状疱疹後神経痛」に対するワクチンの効果は
接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割程度以上と報告されています。

ワクチンの安全性

- ・ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。
- ・頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフラキシー、ギランバレー症候群*が見られることがあります。
- ・接種後に気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに医師にご相談ください。

	生ワクチン（ビケン）	組換えワクチン（シングリックス）
ワクチンを接種した部位の症状	発赤、かゆみ、熱感、腫れ、痛み、硬結、倦怠感	痛み、発赤、筋肉痛、疲労、頭痛、腫れ、悪寒、発熱、胃腸障害、かゆみ、倦怠感等

*ギランバレー症候群とは・・・指先や足先から始まる弛緩性麻痺、腱反射の減弱や消失等の症状があらわれることがある。

予防接種の注意事項

【接種が不適当な方】 次のいずれかに該当する場合は、接種ができません。

- ・明らかな発熱を呈している方
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ・本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
- ・上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方
- ・生ワクチンについては、免疫機能に異常のある方、免疫を抑制する治療を受けている方

【接種要注意者】 次のいずれかに該当する場合は、注意して接種してください。

- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな方
- ・予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ・過去にけいれんの既往のある方
- ・過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

【接種後の注意】

- ・接種当日は激しい運動を避けてください。
- ・接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射したところをこすらないでください。